

## 環境心理生理運営委員会 議事録 2014 年度 第 2 回

文責 辻村

- A. 【日 時】 2014 年 10 月 10 日 金曜日 (17:30~20:00)
- B. 【場 所】 建築会館 会議室
- C. 【出席者】 松原斎樹(主査)、合掌頭(幹事)、辻村壮平(幹事)、  
秋田剛、大井尚行(skype 参加)、大石洋之、槇究、宗方淳  
順不同・敬称略
- D. 【配布資料】 2014 年度 第 1 回環境心理生理運営委員会議事録(案)  
2014 年度 第 2 回環境心理生理運営委員会議事次第  
2014 年度 大会若手優秀発表の審査結果一覧表  
小委員会設置申請書(社会と環境心理小委員会、感覚・知覚心理小委員会)  
2014 年度 第 2 回環境工学本委員会資料  
※2013 年度より、資料に関しては印刷物ではなく  
オンラインストレージサービス機能を用いてデータで配布している。

### E. 【報告事項】

#### 1. 2014 年度 第 1 回環境心理生理運営委員会議事録(案)の確認

先回議事録(案)の確認を行った。記載内容について修正に関する指摘・意見が特になかったため、正式な議事録として承認された。

#### 2. 2014 年度 第 2 回環境工学本委員会の報告

第 2 回環境工学本委員会には合掌幹事が代理出席した。第 2 環境工学本委員会の内容に関して、特に本運営委員会に関連の深い事項について合掌幹事から報告があった。

##### ■ 2013 年度のシンポジウム実施結果報告

2013 年度のシンポジウム開催の収支について、約 160 万円の黒字であったことが田辺委員長より報告された。

##### ■ 2015 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類の提出

2015 年度の運営委員会および小委員会の活動計画案・予算原案、小委員会設置申請書、小委員会廃止申請書を 10 月 24 日(金)までに事務局担当者へ提出しなければならない。

##### ■ 2015 年度の大会準備日程

- ・ OS の提案締め切り : 2014 年 11 月 20 日 (木)
- ・ 電子投稿の締め切り : 2015 年 4 月 7 日 (火) 12 時
- ・ プログラム編成会議 : 2015 年 4 月 20 日 (月)

##### ■ 2015 年度大会会場及び開催期間

【期 間】: 2015 年 9 月 4 日 (金) ~ 9 月 6 日 (日)

【会 場】: 東海大学湘南キャンパス

##### ■ 2015 年度開始 [若手奨励] 特別研究委員会設置提案募集

40 歳以下の若手会員のグループによる若手奨励特別研究委員会の設置提案の公募へ奮って応募頂きたいと田辺委員長から報告があった。書類提出の締め切りは 2014 年 10 月 24 日 (金) である。慶応義塾大の伊香賀先生と東海大の岩田先生が選考委員になってい

る。

■ 2015 年日本建築学会大賞候補の推薦依頼

2015 年日本建築学会大賞候補者を「日本建築学会大賞候補推薦要綱」に基づいて推薦して頂きたい。大賞候補を推薦する場合は運営委員会で意見を A4 用紙 1 枚にまとめ、2014 年 11 月 28 日（金）の第 3 回環境工学本委員会に挙げる。

■ 2015 年日本建築学会教育賞候補の推薦依頼

2015 年日本建築学会教育賞候補者の推薦について、提出書類の期限は 2014 年 10 月 10 日（金）である。音環境運営委員会より 1 名の推薦があった。

■ 卒業論文等顕彰事業委員会の委員の交代

卒業論文等顕彰事業委員会の委員の入れ替えに伴い、2014 年 12 月より熱・空気環境分野から 1 名ずつ委員が推薦される。

■ 第 28 回環境工学連合講演会の運営委員

第 28 回環境工学連合講演会の運営体制について、建築学会から千葉工大の望月先生が運営委員として推薦された。第 28 回講演会は東京都市大学の宿谷先生が建築学会からの講演者となっている。

■ 2015 年度「技術部門設計競技」課題

2015 年度「技術部門設計競技」の課題の検討および実施依頼が環境工学本委員会にきている。2016 年度より実施体制が変わるため、2015 年度が現体制での最後となる。

■ 2014 年度大会（関西）における意見・反省など

神戸大学で開催された 2014 年度大会で生じた意見として、部屋が狭いという意見が多かった。

■ 2014 年度大会研究集会資料の会員限定無償公開

建築学会ホームページの AIJ デジタルライブラリーで、2014 年度の大会研究集会資料が会員限定で無償公開される。

■ 2015 年度の大会 OS および研究発表部門細分類・細々分類について

2015 年度大会の OS を実施する場合、2014 年 10 月 24 日（金）までにセッション名と主旨（200 字程度）をまとめ、運営委員会から事務局へ書類を提出しなければならない。研究発表部門の細分類・細々分類について、環境工学分野では光環境分野で、細々分類の a.光源に「有機 EL」が追加された。また、地球環境委員会の廃止に伴い、細分類：木材の項目を環境工学分野のいずれかの運営委員会で細分類・細々分類に加えて欲しいという意見があり、環境設計運営委員会で検討されている。

■ 2015 年度大会の研究協議会および研究懇談会の企画案

- ・研究協議会テーマ案：アジアに映る環境工学の未来（仮）
- ・研究懇談会テーマ案：環境工学を担う若手研究者－私の研究スタイル－Part II

■ AIJES の改訂について

AIJES は制定から 5 年を経過するごとに規格の改訂、確認、廃止の検討を行うことになっており、2014 年度は 5 つの規格が対象となる。その中で、「建築物の振動に関する居住性能評価指針・同解説（第二版）（AIJES-V001-2004）」が改訂することになっている。

■ 委員の委嘱について

環境心理小委員会の「可愛い」を求める心と空間のあり方に関する研究 WG への委員の追加として、佐藤隆氏（東日本旅客鉄道㈱）が環境工学本委員会で承認された。

■ 次回の本委員会開催スケジュール

11月18日（火）、2015年2月17日（火）

F. 【審議事項】

1. 大会若手優秀発表の受賞候補者について

大会若手優秀発表の受賞候補者について、2014年度 大会若手優秀発表の審査結果一覧表を参考に、運営委員会で審議が行われた。問題点として、審査員の評価（◎、○、△）のばらつきが大きく、例えば、◎をつけやすい審査員や、○および△さえもつけない審査員がみられ、単純に審査結果を得点化することによる受賞者の選定は困難であった。そこで、楨委員より、「まず、各担当で推薦したい人がいるか否かをうかがってみてはどうか」という意見が挙がり、出席者の中で意見を募った。そこで挙げた数名の候補者に関して、出席者全員で様々な意見を交わし、非常に慎重な審議を行った結果、以下の4名を最終的な受賞候補者とする事で合意に至った。

- ・40011 雨宮多佳子 「夏期における学校施設的环境と児童生徒の生活習慣が学習効率・健康に与える影響」
- ・40044 鈴木恵太 「建築空間に投影された水によってゆらぐ光がもたらす心理的影響」
- ・40060 吉原俊朗 「広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その4 ～中国在住の中国人学生被験者による評価結果～」
- ・40065 徳本冬華 「雨宿り空間の心理的評価に関する研究 その2 建物屋内使用者の雨宿り行為に対する意識」

上記の4名の受賞候補者について、今回欠席された運営委員の先生方にこの4名以外に候補者がいるか等も含めてMLで意見をうかがい、最終的な受賞候補者を決定する。

また、次年度以降のために、本年度に行った審議内容を踏まえて、審議の中で挙げた意見を以下にまとめる。MLにて次年度以降の審査方法に関する議論を行い、2014年11月10日までにまとめたい。

- 2名の審査員は基本とするが、審査員になっていない講演に対しても、聴いている場合は全て評価しておく方がよい。
- 現在の研究内容・プレゼン・質疑対応の3つの審査項目ではなく、総合的に1つの項目にする方が審査しやすい。
- 大会若手優秀発表という本賞の位置付けを考えると、プレゼンと質疑の評価を重視して良いのではないか。

2. 各小委員会の次期方針

各小委員会主査（主査が欠席の場合は委員）が活動報告を行った。

- 環境心理小委員会（主査：楨委員）

環境心理小委員会の次期活動は、基本的には本年度までと同様に、名称もそのまま活動を継続していく。チュートリアル運営WG、研究手法WG、かわいいWGの3つを継続し、それぞれのWGの主査にもそのまま継続して頂きたいと考えている。かわいい

WGについては、名称を変更して継続する。

○ 持続性社会の環境心理小委員会（主査：宗方委員）

持続性社会の環境心理小委員会は「社会と環境心理小委員会」と名称を変更して、活動を継続していくことにする。活動内容については、これまでの委員が主となり研究会を開催するというスタンスから、外部から人を呼んで講演してもらい、研究会を開催するという方向に少し変更し、活動を実施したい。

○ 心理生理のフロンティア小委員会（主査：土田委員）

主査の土田委員が欠席であったため、松原主査より次期活動について説明があった。小委員会の名称を「感覚・知覚心理小委員会」と変更し、傘下にはシンポジウム開催と勉強会の開催を主とする2つのWGを設置する。シンポジウムや勉強会の開催を主とした活動を実施していく。

### 3. 運営委員会の次期主査の選出について

本運営委員会の次期主査の選出について、運営委員会で議論を行った。松原主査より、運営委員会の現体制は基本的に各小委員会主導で運営されており、それらをとりまとめるということが本運営委員会の主な活動となっているという意見が挙げられた。また、松原主査や大井委員、楨委員などから、多くの人が主査を経験できるよう、2年毎に主査を交代しても良いのではないか、という意見も挙げられた。これらについては、今回欠席している委員の意見もうかがい、MLにて審議を継続することとなった。

運営委員会主査は立候補あるいは推薦となるが、(自発的に)立候補者が表れないことも多く、運営委員会で次期候補者についての議論をある程度しておくことが望ましいのではないかと、という意見があり、これについては出席者全員が同意した。選挙に関して、候補者が1名の場合でも選挙が必要か否か、これについてはさらにMLで議論をすることになった。

今回の運営委員会での議論の結果、次期主査候補に西名委員を推薦する声が挙がり、これについては出席していた全委員の同意を得た。松原主査から西名委員に、次期主査をお引き受け頂けるか否か確認して頂くこととなった。

### 4. 環境心理チュートリアル of U-stream 動画配信の改善点の報告

本年度の第14回環境心理チュートリアルでU-streamによる動画配信を実施したが、実際にはチュートリアルの際にたびたび音声に不備が生じていたことが大井委員と宗方委員より報告された。また、参加申し込み期限について、建築学会のHP上では動画配信による参加者の申し込み期限が表示されていないため、締め切りがわかりにくいことで申し込みを忘れていた方もいたことが宗方委員から説明された。これらの指摘について、その内容を宗方委員から事務局に伝えて頂くこととなった。

### **G. 【次回の開催日程】**

2014年11月18日（火）17:30～19:30

以上